

第 332 回理事会 議事録

- 1 日時 令和 6 年 10 月 16 日（水）14：00～15：20
- 2 場所 ハートピア京都
- 3 出席者 別表のとおり 理事：17 名のうち出席者 12 名
監事：3 名のうち出席者 2 名
- 4 議長 小畑英明会長
- 5 内容

出席理事、監事を確認し、理事 12 名の出席で理事会は有効に成立している旨を事務局から報告。小畑会長の開会あいさつの後、互選により小畑会長を議長に選出。議長から議事録の署名は定款の規定により会長と監事であることを確認。

報告中に監事 1 名が到着し、出席理事 12 名及び出席監事 2 名となる。

（1）報告

①職務執行状況報告、②令和 6 年 9 月能登豪雨災害支援

常務理事から資料に基づき説明。

③生産性向上推進事業

事務局から資料に基づき説明。

④第 6 次中期計画の策定

常務理事から資料に基づき説明。

- ・出席理事から生産性向上の相談窓口は、京都市内も含むのか質問があった。
- ・事務局よりできるだけ幅広く対応できるよう府と相談中であることを回答。
- ・監事から生産性向上セミナーは新規に ICT 化をする法人を促すものか、全ての法人の底上げか、目指す方向性について質問があった。
- ・事務局より先駆的なものではなく事業所のレベルアップを図ることを回答。
- ・小畑会長から生産性向上事業における経営協との連携について質問があった。
- ・事務局より現場だけでは進まないため、経営層の意識の変化が重要。経営協とも連携したい旨説明。
- ・出席理事から中期計画について、会員制度の強化及び経営協等との連携について質問があった。
- ・常務理事よりメリットで会員になってもらうものではないが、受講料割引などがあると説明。
- ・出席理事から研修を受講後、動画を再度観れないか。また受講できない職員に

WEB を活用した研修の検討をしてもらいたいと意見があった。

- ・出席理事から中期計画について、子どもについて重点化されていることに賛成、また「こども」「子ども」「子供」で意味が異なると意見があった。
- ・監事から中期計画について、「京都府らしい地域福祉」について質問があった。
- ・常務理事より案として表記したが現在検討中であること説明。

(2) 議題

①第 1 号議案 生活福祉資金特例貸付債権管理に係るプロポーザルの実施に関する件

事務局から資料に基づき説明。

- ・出席理事からプロポーザルの応募はどれくらいあるのか。また選考委員について理事や監事、事務局が入っているのは相応しいのか。第三者性はどこで担保するのか。
- ・事務局より近畿府県で新規参入があったのは3～4件程度。京都も同様と考えていることを回答。
- ・常務理事より監事は公認会計士という位置づけで選任した。事務局については外し、代わり第三者と位置付ける委員を検討したい。

→生活福祉資金特例貸付債権管理に係るプロポーザルの実施については、出席理事以外の同意により承認。ただし、選定委員については、意見を踏まえ検討することとなった。

櫛田副会長の閉会あいさつの後、閉会。